

特集「建設分野の魅力」第26回

技誇るものづくり

県営姫路御着住宅の工事現場を訪問

住宅や学校、病院など、私たちが暮らしたり学んだりするために居心地のいい構造物をつくり上げていくのが建設業の仕事。さまざまな職種が関わるが、多くの職人が「形として長く残るものに関わる喜び」を口にする。姫路市で建築中の県営姫路御着住宅の工事現場で活躍する8人に、仕事のやりがいやこだわりを聞いた。



「県営姫路御着住宅」の立ち上げを完成イメージ。第3期工事で鉄筋コンクリート造り5階建て25戸を建設。6月に完成予定

県営姫路御着住宅建築工事 老朽化が著しい「姫路御着住宅(1975年完成)」の建て替えを実施。バリアフリー化、太陽光発電、ガラスパーキング(芝生化駐車場)など、安全・安心かつ環境にも配慮した団地に生まれ変わった。2014年に着工し、4棟を順次建設。現在行っている第3期工事で鉄筋コンクリート造り5階建て25戸を建設、20年6月に完成予定。



(取材協力=兵庫県建設業育成魅力アップ協議会)

平錦建設株式会社 (姫路市)

奥平 康雄 さん



現場監督
現場監督の仕事は、オペレータの指揮官に例えられる。指揮者がさまざまな楽器の演奏者や楽器を奏するハーモニカを吹出すように、現場監督はそれぞれの職人の仕事を工程組み込みながら建物の完成まで導く。現場監督自身が作業をするのではなく、工事全体を管理する立場だ。しかし指揮官が一つの楽器に精通しているように、現場監督もそれぞれの職人がどんな仕事をしていくのかを知っておきたい。そう考えて20代のころは鉄筋工や型枠工、左官、木造作業などさまざまな現場作業を体験させてもらった。工場の建築学科で学んだ卒業しても現場に出ると専門用語が飛び交っていて分からないことがある。職人の仕事は難しさを苦労を体感できたのが財産になったと話し、「工期の問題だから職人に無理解を招くこともあった。仕事を進めると同時に」と当時の経験を口に生かしている。

人間力感じたい人こそ



事務所と隣の現場を足しげく行き来して仕事を進める奥平康雄さん

朝7時ごろ現場に着き、心持の朝礼までに現場をさっと見て回る。仕事環境や進捗状況を把握した上で、「今朝は何が降りて濡りやすいから気を付けるよ」とか、「朝礼に集まった約30人声を掛ける。日中もたびたび現場に足を運ぶ。職人とコミュニケーションを取ることを怠らない」
土木分野では情報通信技術(ICT)の導入が進むが、建設分野は人間の技術が物を言う世界。「だからこそ、後進を育てる必要がある。人間力を感じながら仕事をしたい人に向いている分野では」と奥平さん。「二つとは同じ現場はない。どの現場でも苦労はあるが、乗り越え完成したときの達成感は一瞬で」と奥平さん。

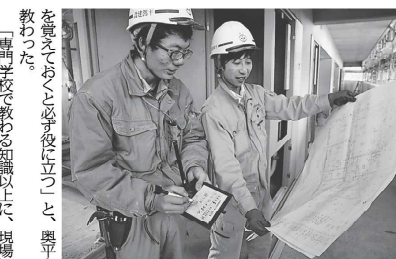
平錦建設株式会社 (姫路市)

藤原 永遠 さん 正城 優人 さん



施工管理
父親が土木関係の仕事に携わり、勘当に残る仕事です。小学校から現場で働き、高校時代に技術科の自由科目の課題が、本棚作りなどを通して「ものづくりが楽しい」と興味を覚えた正城さん。高校卒業後、建築現場監督を目指して専門学校で学び、昨年春に入社したばかり。現場監督の奥平さんの下で、施工管理を担当。
ほぼ毎日通って現場に立ち、工事の進捗具合を撮影し写真で記録してゆく。仕上がりは施工図通りか法検査、工期通りに進んでいるかチェックもする。現場で職人が何をしているのか分からなければ、遠慮せず質問すること。それが至るの特権。そして仕事の状況や流れを覚えておくことが必ず役に立つ」と、奥平さんに教わった。

経験積んで現場監督に



施工図通りに工事が進んでいるかチェックする藤原永遠さんと正城優人さん

いずれも目標は、現場監督になること。建築施工管理技士2級の試験に合格すれば、主任技術者、同一級に合格すれば主任技術者になれる。「一歩ずつステップアップしながら現場監督を目指したい」と正城さん。藤原さんは「職人さん以上にコミュニケーションが取れる現場監督になって、仕事をスムーズに進められたら」と将来の姿を思い描いている。

マルイチ株式会社 (姫路市)

大鳥 拓人 さん



とび工
外壁の塗装工事を行うため、建物回りに足場を組み立てる。高層ビルなら、地上30階の高さで作業することもある。1年目は安全帯を着けていても高所作業になると腰が引けていたが、5年たったすっかり体が仕事を覚えた。今ではリーダーとしてフルートをまとめるまでに成長。紺色のデニム生地は3メートルに身を包み、さっさと現場を切り盛りする。マルイチ株式会社は兵庫県の認定を受けた職業訓練校を自ら運営しているため、同校からそのまま就職した若い職人が多く所属する。高所が平気な若手は足場職人、力仕事に自信がある若手は資材運搬。仕事に丁寧な女性とのび工にはベネキが飛び散らないために覆シート張りなど、一人一人の適材適所を考えながら仕事を進めていく。風雨や寒暖差に影響を受けやすい外作業だけに、夏は30℃以上に小まめに休憩を取るなど安全第一を最優先に考える。また、組む人によって進み具合が出るのが足場。「半に曲め

安全第一で奥深い仕事



建物の高所に仮設の足場を設置する大鳥拓人さん。高所でも決して自身をこたす

よい、通れただけではなく、使おう人の立場に立つた足場を作る」ことをかけ、それが起らないように、大きな鉄骨がきれば階段のような歩幅に組んでつまみやすいように工夫。「限られた工期の中でできるだけ足場を設置しようと突き詰める、結構奥の深い仕事」と向上心は尽きない。子もこの頃から体力に自信があり、とび工には「機械は足場作れない。人間じゃないとできない仕事」と感じ、引かれたという。「一人一人の役割がある仕事。会社の若手もやりがいを持っていて」と胸を張る。

備えることは、守ること。

安い掛金、手厚い補償。

(障害7級まで)

建設共済保険

法定外労災補償制度



「建設共済保険」以外にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ導入費用に対する助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人
建設業福祉共済団

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

■ 取扱機関: (一社)兵庫県建設業協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門タワー11階

契約者と業界の発展のために

建設共済保険

検索

http://www.kyousaidan.or.jp/



分かち合う達成感

現場の8人に聞く

門野鉄建工業株式会社 (加古川市)

折田 大稀 さん



鉄筋工

現場へ搬入した大量の鉄筋を、まるで巨大な知恵の輪をつくるように組み立てるのが鉄筋工。針金結束したりその場で曲げたりしながら、慣れた手つきで細目にしっかりと設置していく。

鉄筋は人間の骨格を表現する骨。完成時はコンクリートの中に埋まって骨格となる大切な存在だ。鉄筋は引張り力に強く、コンクリートは圧縮に強い。弱さを補完するコンクリートは骨格の強度面で特に重要。コンクリートから鉄筋が露出して酸化すると強度が低下するため、設置する位置には気を付けなければならない。近年は種類の耐食性がより求められて使用する鉄筋の量が増加し、直径10φから5φまで12種類の鉄筋を使い分ける場面もある。コンクリートに隠れて見えなくなってしまうから、住む人や使う人に対してしっかりと胸を張れる仕事をしていくべきだ」と表情を締め、父が鉄筋工を営む姿を見て育った。中生の頃には、長期の休暇に入る父の仕事を手

建物の骨格を組み立て



骨格となる鉄筋を確保する折田大稀さん。建物を丈夫にするための重要な仕事だ。

伝うようになり、17歳で入社した。仕事や取組を覚え、設計図を理解できるようになるまで来てはなかったが、入社7年目になったリーダーに就任。今では自分より年長者の職人に指小を出して、ともある。建築資格である1級鉄筋施工技術士の資格を取得して、自信も付いた。現場で必要になる鉄筋の種類や数量を事前に見積もるのだが、それが読み通りに運んでくることが多い。今はとても仕事が楽しく充実している」と笑顔を見せる。二人前になるまでを覚悟が、若くは先がいろいろ教えてくれる。若い人

株式会社原田工務店 (姫路市)

八木 繁明 さん



型枠工

コンクリート造りの建物に欠かせないのが型枠工。事前に木材を加工し型枠を作り、現場に運びミリ単位で正確に設置する。その枠にコンクリートを流し込み、固まった型枠を取り外す作業までを一貫して行う。一機機を使わずに手仕事。ゆがみや凹凸などの誤差は数ミリ以内に取り除く」と話し、「コンクリートを打設し後にミスが見つかっても、ほぼ取り返しがつかない。だからチェックむ前に注意喚起し、複数人の目チェック。正確な仕事を心掛けなければ」と職人ならではの苦労に触れる。

幼少期からのつくりに対するこだわりがあり、高校卒業後に知人から紹介された仕事が型枠工だった。入社後に型枠工として現場を経験し、その後社長の下で経験を積んだ。現在は多岐の現場を管理し、計60人ほどの型枠工を率いる。「人と接するのが得意ではなかったが、今の担当になったから人の大切さが身に染みわたるようになった。チームを進める仕事だから、一人でも欠けた仕事や工期に

機械使わず全て手仕事



コンクリートを流し込むとき大きな力がかかるため、打設前に型枠を点検する八木繁明さん

影響が出る。「木が困っているなら助けてやらない」と思ってもやらない。職人としての心を通じ合わせて接するよう心がけている」と話す。

建築家・安藤忠雄氏の作品が知られる、コンクリートの素肌をそのまま建物表面の仕上げにした「打ち出し仕上げ」を手がけることももある。高い技術力が求められる職種だ。日本の型枠工の仕事は世界トップクラス。私の周りには優秀な職人がたくさんいるが、若い世代がなくなると危惧を抱いている。高い技術をぜひ継承してほしい」と呼び掛けた。

株式会社白木組 (高砂市)

白木 大貴 さん



木造作工

団地の部屋押し入れ部分を作るため、電動のこぎりで木材を切断しながら仕切りを設置していく。無機質な空間に表情が生まれていく。「コンクリートに囲まれただけの空っぽの空間が、自分たちの手で部屋らしくなっていくのが面白い」。部屋の枠組みつくりをはじめ、戸や扉や家具などを取り付けるのが主な仕事で、木造住宅建築の職人である。工事に近い職種だ。木材は前種によって堅さや木目、伸縮の割合などが異なるため、材料の選定を行うには知識や経験が必要になるが、日本建築独特の温かみを表現できるのはこの職種ならではの

日本建築の温かみ表現



木材を使って押し入れを作っていく白木大貴さん。社員である白木が作業を見守る。

祖父が社長を務める白木組、中学卒業後の3年間に入学した。型枠工とは異なり、木造作工は建築物の仕上げ工程を取り扱う仕事。鋼材などに比べて軽やかで木材は資材や道具が当たるより直したててしまいがちだ。当初は「かなり直したててしまいがちだ」と「仕上げ材は住む人が直接目にする部分」を全て任されている。

一緒に現場に入る祖父の存在も大きい。おじいちゃんの仕事は遅くて正確。間違っているとでも指摘されることも多いが、「おや」といって話を聞いてくれる。木造作工の会社には、道具の貸し出しや職人の紹介などもあり知られていないけどサポート体制も整っている。この職種に若い人がもっと増えてほしいと思う。

有限会社川上左官工業所 (姫路市)

川上 昇悟 さん



左官工

この日の作業は建物内部の壁の修繕作業。壁に盛った修繕材をコテですくっては壁に手際よく塗り付けていく。初めは凹凸が目立っていたコンクリート壁が徐々に平滑になつていく。場所によって大小のコテを使い分けるが何回か重ね塗りしていくと、まるで鏡面のように仕上がりになり、さながらミリの精度で美しく追求する左官工の仕事だ。

左官工といえばコテで壁を塗るイメージが強いが、そればかりではない。例えば、共用部の廊下は水が流れるように排水溝を、浴室など水回りの床はスムーズな排水を実現するために、わずかながら凹凸を付けた。左官の仕事は塗る前の段取りが多いので、丸日コテを持たない日もよくある。という壁や床に限らず、サッシ周りの溢れ部分をモルタルで埋めるなど、建築物のあちこちに生じた隙間を埋める作業も担っている。

父も同じく左官職人だ。子どもの頃からものつくりに興味があり、一業種卒業後に父

ミリ単位で美しさ追求



壁に修繕材を塗る川上昇悟さん。現場の左官士である父の背中を見て

が管轄会社に就職して2年がたった。最初の1年間は修繕作業でコテコテと積み重ねた。その間にコテの使い方に慣れたが、初めての土間塗りがきれいに仕上がった父から及第点がもらえたときはうれしかった。「腕を磨いて、いつか跡を継げたらと思う。壁スプレーも頭の回転も速い父を見習いたい」

機械化できない左官工の仕事だけに、若手育成は欠かせない。「1年目くらいはかまわなくてもいいけど、2年目から慣れてくると最初は少しだけ指導して、左官士のやりがいを感じられるまで続けてみてほしい」と同年代にも呼び掛けた。

兵庫県建設業協会は、県民の安全・安心の国土・県土づくりに寄与するとともに、「頼れる・責任ある・希望の持てる協会」を目標に、建設業を技術的、経済的及び社会的に向上させるため、業界の健全な発展に向けた事業やCSR活動・社会貢献活動を展開しています。



●兵庫県川遊水地整備工事(その1)におけるICT施工(ICT建機による掘削)の状況
●兵庫県川遊水地整備工事(その2)におけるICT施工(大型ドローンによる測量)の状況

地域が頼れる

一般社団法人
兵庫県建設業協会

〒651-2277 神戸市西区美賀多1丁目1番地の2
☎(078)997-2300 <https://hyokenkyo.or.jp/>